

行雲流水

No.20 令和3年4月12日発行

「失敗やあやまち」のない者は、いない。「信用・信頼」されるには。

校長 寒河江 正人

人間は、「失敗」をしたり、「あやまち」をおかす生き物だ。
他ならぬ私も、そうだし、あなたも、みんなも、そのようにできている。
そのことから目をそむけず、よく認識して、くじけずに生きてゆかねばならない。

何げなく、2年前のダイアリーを見直してみた。
12月のページに、こんな「メモ」が記してあったので、紹介したい。

元「よしもとクリエイティブ・エージェンシー」専務、竹中功さん（59歳）の言葉。

「^{ベンカイ}弁解やうそ、^{オリ}無理な^{セイとうカ}正当化が、^{アイト}相手の^{イカ}怒りを^{そうふく}増幅させる。

^{セイギ}正義と^{リょうしん}良心で^{のぞ}臨み、「^{イカ}イカリ（怒り）」が（^{ぎやく}逆から^よ読んで）「^{リカイ}リカイ（理解）」になると、

^{しゃざい}謝罪は、^{せいこう}成功と言える。」

かつて、先輩教師から教えられた言葉。

「^{まえ}前もってしておくで「^{せつめい}説明」になるが、^{あと}後からするのは「^い言い訳」と言われてしまう。」

わが家の台所にはってある「あいだみつおカレンダー」の言葉。

「^{ベンカイ}ベンカイのうまい^{にんげん}人間。あやまりっぶりのいい^{にんげん}人間。」（さあ、あなたは、どっち？）

「信用・信頼」を失うのは、たやすく、たった「一瞬」。
しかし、「信用・信頼」を回復するには、容易でない「時間と労力」を要するものだ。
これも私たち人間の真の姿なり。それを、肝に銘じ、心に刻み、職務に精励すべし。